

## 2023 年度事業計画書

(2023 年 4 月 1 日－24 年 3 月 31 日)

### 【基本方針】

同盟育成会事業の二本柱の一つである学生寮事業では、電通育英会の協力を仰ぐとともに在寮生の出身高校に働きかけを強めた結果、2023 年度の応募者数が増加した。引き続き、応募者数の拡充に向け、努力していく。学寮の設備のうち、劣化したものは逐次更新する。もう一つの柱である奨学金事業では、給付奨学生の新規募集枠は、学部生、大学院生各 20 人を維持する。ただし、応募状況や財団の財政事情を踏まえて、弾力的な対応をする。

### 【収支見通し】

収入面では電通株の配当金が 2022 年度は通年で 1 株 155 円 25 銭と 21 年度の 117 円 50 銭から大きく増加した。23 年度も予算では同じ水準を見込んでいる。債券運用や上場投資信託 (ETF) の運用も順調だ。この結果、全体としても大幅な増収が見込まれるため、収支相償の観点から、財団としては劣化が進んでいる学寮設備の更新、奨学生研修事業の充実を進めていく考えだ。

### 【管理部門】

資産運用＝予算では電通株の配当が高水準で続く見通しを踏まえ、収入合計を 3 億 6,754 万円 (22 年度予算は 3 億 0,323 万円) と見込んだ。引き続き収支相償の基本を守るため、財務体質の健全性に留意しながら、必要な事業には相当額の出費を行う。

### 【組織運営】

働き方改革の一環として、2023 年度も職員の在宅勤務を活用していく。

### 【学生寮事業】

(1) 2024 年度の新規入寮者募集＝24 年度の入寮者募集は、前年に続きオンライン

- 面接のみで実施する。募集人員に満たない場合は、弾力的な対応をする予定。
- (2) 教育補助事業＝財団主催の新入寮生入寮式（4月）、創立記念行事（10月）、成人式兼送別会（1月）や、寮生が自主的に実施する予定の新人歓迎会（4月）、夏季キャンプ（8月～9月）、クリスマスパーティー（12月）などのイベントを開催する。
  - (3) 保健・衛生＝財団の負担で、寮生希望者にインフルエンザの予防接種を受けさせるなど、寮生の健康維持に努める。

#### 【奨学金事業】

- (1) 新規採用目標＝大学院生、学部生とも給付奨学金の新規採用者数は、前年度と同じ20人とする。これにより、大学院生の奨学生は合計で2022年度末の43人から42人に、学部生は39人から38人となる。給付額は大学院生月額6万円、学部生同4万円は維持する。
- (2) 給付奨学生研修会＝大学院生と学部生の研修会は年2回、秋（9月）と春（2月）に実施する。秋はオンライン形式とするが、春は対面で開催する。また、奨学生同士の懇親を図るため、7月に会合を開く予定。

#### 【収益事業】

唯一の収益事業である旧渋谷寮跡地の日本パーキング株式会社への賃貸は安定的に推移しており、継続する。

以上